

# 大道芸人Keiの今夜もジャグラーズハイ！

その1 2012 11 14 発行

こんばんは、大道芸人Keiです！

ハイテンションで偏った覚え書き「大道芸人Keiの今夜もジャグラーズハイ！」をお読み下さってありがとうございます。

毎号気の向くままに発行していきます。

文章も決して上手ではありませんし、誤字脱字もきつとあります。

見つけた方には特製何かをプレゼント！

その一輪車のって帰るんでしょう？そうそう左車線でね・・・ってそんなわけあるかい！！

さてさて、初回である今回はタイトルのお話。

そもそもジャグラーズハイって何なのかってことについてです。

【ジャグラーズハイ】

ジャグリング練習時、出来なかった技ができるようになって得られる高揚感。

「うおー！！いまみた？見てた？なんだ、見とらんかったんかあ」

こんな時の気持ち・状態を表す言葉です。

いまから10年くらい前に僕が勝手に考えて作った言葉ですから、ジャグリングしない人に言っても何のことを言っているのか伝わりません。

ジャグリングを練習していたことがある人なら、ひとつの技が出来た時の感動って知っているとします。

でも、その瞬間ってうれしいだけではないはずなのです。

ちょっと、考えてみてください。

今まで出来なかったことのやり方を知った自分って、出来るようになる前の自分とはちょっと違います。違う人になっているんです！

そう考えたら、自分自身の成長していく様子を身近に感じる事が出来るのがジャグリングの面白いところなんじゃないかなと思う今日この頃です。

ジャグリングできたらモテるでしょう？と年間20回は聞かれます

ハイ。ジャグリングできても別にモテません。

でも楽しいんだからいいじゃないか！！そう叫んでいた18歳の僕。

おっと、話がそれました。ここではジャグリングが上達する考え方を紹介します！

意外と真面目な内容なのでご注意を(笑)

ジャグリングがどんどん上達する考え方ってどんな考え方でしょうか・・・？

大切なことは少なくとも2つあると思います。

1つ目は『リアルにイメージする』こと。

出来るようになったときはどういう風に体が動いているか。どんな風に手が動いているか。

目ではどういう風に見えるか。

そんなことをイメージすることが大切です。

人間にはイメージしたものに近づいていく能力が有るといいます。

例えば、毎日鏡を見ながら筋力トレーニングをすると、やみくもにトレーニングするよりも理想の体型に近づきやすいというデータは科学的に実証されているとか。

きっとジャグリングも同じです！

出来た自分を出来るだけリアルにイメージする！もちろんイメージですからちよつとくらい違っていてもいいんです。

理想はリアルに思い描けば現実になる！

あくまで前向きに、ポジティブな気持ちで取り組みましょう！

2つ目は『違いに敏感になる』こと

どれだけしっかりとイメージしたつもりでも、頭で考えたことと実際に動いてみたのでは全然違います。

「きっとこの技が出来たらこんな感じだろう」そう思っていたものは、実際に動いてみたら全然違うことも良くあることです。

そんなときは、イメージをしなおしましょう。

また、「手の動かし方はもっとこうの方がいいかな。」などと試行錯誤するものですが、その技の完成に近づいているのか遠ざかっているのかは、案外わからないものです。

そんなときは体の声をよく聞きましょう。違いに敏感になることで成功への道がうっすら見えたりしますよ！

間違っていると感じたら、頑固にならずに別の道を探してみるのも成功への第一歩だと僕は勝手に思っています。

成功したい！完成させたい！という気持ちがあれば、回り道は全然無駄ではありません！

あ、あくまでジャグリングのお話ですよ(笑)

文章を途中から読むと、すごいわい偉そうな人生論みたいで自分でもビックリ(笑)

あくまでジャグリングのお話ですので。

ちなみに、僕は小学校で先生からよく叱られる子でしたが、そこで学んだことがあります。

それは、何かしでかしても本気で謝ればたいてい許してもらえるということ。

でも大人になって、謝ろうがなにしようが許してもらえないことがあるということも知ったし、基本的には謝らなくてはならないようなことはしたくないですけどね。

ジャグリングでは失敗を恐れいてはイカンですよ。ということが言いたかったわけです。

何かが出来るようになるということは、山ほどの失敗の向こう側にあるんです！

そう、ほしいものはいつもその先にあります。

今回はここまでお読み下さってありがとうございました！次回までバイバーイ Kei

